Package Insert (Hikari)

※※2008年２月 改訂(第６版 社名変更)
※2006年７月 改訂

日本標準商品分類番号
873231

処方せん医薬品[注1)]

日本薬局方ブドウ糖注射液

糖注MP５％
糖注MP20％

GLUCOSE INJECTION MP

貯　　法：室温保存
使用期限：３年(外箱、容器に表示の使用期限内に使用すること。)
注　　意：取扱い上の注意の項参照
注1)注意－医師等の処方せんにより使用すること

	糖注MP５％	糖注MP20％
承認番号	21100AMY00017	20600AMY00120
薬価収載	1999年２月	1994年７月
販売開始	1999年９月	1997年10月

【禁忌】(次の患者には投与しないこと)

低張性脱水症の患者

［本症はナトリウムの欠乏により血清の浸透圧が低張になることによって起こる。このような患者に本剤を投与すると、水分量を増加させることになり、症状が悪化するおそれがある。］

【組成・性状】

	糖注MP５％	糖注MP20％
成分・分量	ブドウ糖 1g/20mL	ブドウ糖 4g/20mL
性　　状	本剤は無色澄明の液で、味は甘い。	
pH	3.5～6.5	
浸透圧比[注2)]	約1	4.0～5.0
熱　　量	4kcal/20mL	16kcal/20mL

注2) 生理食塩液に対する比

【効能・効果】

脱水症特に水欠乏時の水補給、薬物・毒物中毒、肝疾患、循環虚脱、低血糖時の糖質補給、高カリウム血症、心疾患(GIK療法)、その他非経口的に水・エネルギー補給を必要とする場合

注射剤の溶解希釈剤

【用法・用量】

水補給、薬物・毒物中毒、肝疾患には通常成人１回５％液500～1000mLを静脈内注射する。

循環虚脱、低血糖時の糖質補給、高カリウム血症、心疾患(GIK療法)、その他非経口的に水・エネルギー補給を必要とする場合には通常成人１回10～50％液20～500mLを静脈内注射する。

点滴静注する場合の速度は、ブドウ糖として0.5g/kg/hr以下とすること。

注射剤の溶解希釈には適量を用いる。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

１．慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

1) カリウム欠乏傾向のある患者
［カリウム欠乏傾向を助長するおそれがある。］

2) 糖尿病の患者
［高血糖を生じ、症状が悪化するおそれがある。］

3) 尿崩症の患者
［本症には適切な水分、電解質管理が必要であり、本剤の投与により電解質等に影響を与え、症状が悪化するおそれがある。］

4) 腎不全のある患者
［水分の過剰投与に陥りやすく、症状が悪化するおそれがある。］

２．重要な基本的注意

ブドウ糖の投与速度が速い場合に急激に中止することにより、低血糖を起こすおそれがある。

３．副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

副作用が認められた場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

大量・急速投与：大量を急速投与すると、電解質喪失を起こすことがあるので、慎重に投与すること。

４．高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので、投与速度を緩徐にし、減量するなど注意すること。

５．適用上の注意

1) 投与経路
皮下大量投与により血漿中から電解質が移動して循環不全を招くおそれがあるので、皮下に投与しないこと。

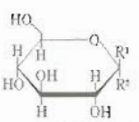
2) 調製時
① 他の医薬品と混注して使用する場合には、医薬品相互の物理的・化学的変化に十分注意して行うこと。
② 注射剤の溶解・希釈液として使用する場合は、ブドウ糖注射液が適切であることを確認すること。

3) 投与前
① 投与に際しては、感染に対する配慮をすること。(患者の皮膚や器具消毒)
② 寒冷期には体温程度に温めて使用すること。
③ 開封後は直ちに使用し、残液は決して使用しないこと。

4) 投与時
① ゆっくり静脈内に投与すること。
② 高張液の投与は血栓性静脈炎を起こすことがあるので、慎重に投与すること。
③ 血管痛があらわれた場合には、注射部位を変更すること。また、場合によっては中止すること。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：ブドウ糖(Glucose)
化学名：D-glucopyranose
化学構造式：



α-D-グルコピラノース：R^1=H, R^2=OH
β-D-グルコピラノース：R^1=OH, R^2=H

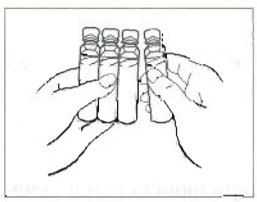
分子式：$C_6H_{12}O_6$
分子量：180.16
性　状：・白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、味は甘い。
・水に溶けやすく、エタノール(95)に溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

【取扱い上の注意】

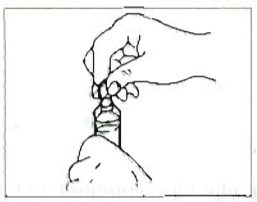
1．包装内に水滴が認められるものや内容液が着色又は混濁しているものは使用しないこと。

2．アンプルカット時の手順

1）アンプルの結合部分を前後に切り離して下さい。



2）頭部を回転させて切り離して下さい。



【包　　装】

糖注MP５％　20mL：100管(プラスチック容器)
糖注MP20％　20mL：100管(プラスチック容器)
(プラスチック容器はポリエチレン製である。)

※※ 製造販売元(輸入元)
※ マイラン製薬株式会社
大阪市中央区本町2丁目6番8号

発売元
光製薬株式会社
東京都台東区今戸2丁目11番15号

210.0
表 天

※※2013年1月改訂（第9版 販売会社変更）
※2011年3月改訂

処方せん医薬品：注意―医師等の処方せんにより使用すること

貯　　法：密封容器、室温保存
使用期限：3年
（外箱・容器に表示の使用期限内に使用すること）
注　　意：取扱い上の注意の項参照

日本薬局方　ブドウ糖注射液

糖注MP5%
糖注MP20%
Glucose Inj. MP

日本標準商品分類番号
873231

	糖注MP5%			糖注MP20%
	20mL	250mL	500mL	20mL
承認番号	21100AMY00017			20600AMY00120
薬価収載	1999年2月	1999年2月	1999年2月	1994年7月
販売開始	1999年9月	1999年7月	1999年7月	1994年7月

【禁忌（次の患者には投与しないこと）】

低張性脱水症の患者〔本症はナトリウムの欠乏により血清の浸透圧が低張になることによって起こる。このような患者に本剤を投与すると、水分量を増加させることになり、症状が悪化するおそれがある。〕

【組成・性状】

1．組　成

販売名	糖注MP5%			糖注MP20%
容量	20mL	250mL	500mL	20mL
成分 ブドウ糖	1g	12.5g	25g	4g
熱量	4kcal	50kcal	100kcal	16kcal

2．製剤の性状

販売名	糖注MP5%	糖注MP20%
性状	無色澄明の液で味は甘い。	
pH	3.5～6.5	
浸透圧比[注)]	約1	4.0～5.0

注）生理食塩液に対する比

【効能・効果】

糖注MP5%：
脱水症特に水欠乏時の水補給、薬物・毒物中毒、肝疾患、注射剤の溶解希釈剤

糖注MP20%：
循環虚脱、低血糖時の糖質補給、高カリウム血症、注射剤の溶解希釈剤、心疾患（GIK療法）、その他非経口的に水・エネルギー補給を必要とする場合

【用法・用量】

水補給、薬物・毒物中毒、肝疾患には通常成人1回5%液500～1000mLを静脈内注射する。
循環虚脱、低血糖時の糖質補給、高カリウム血症、心疾患（GIK療法）、その他非経口的に水・エネルギー補給を必要とする場合には通常成人1回10～50%液20～500mLを静脈内注射する。
点滴静注する場合の速度は、ブドウ糖として0.5g/kg/hr以下とすること。
注射剤の溶解希釈には適量を用いる。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1．慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

(1) カリウム欠乏傾向のある患者〔ブドウ糖の投与によりカリウムが細胞内に移行し、一時的に血清カリウム値が低下し、症状が悪化するおそれがある。〕

(2) 糖尿病の患者〔高血糖を生じ症状が悪化するおそれがある。〕

(3) 尿崩症の患者〔本症には適切な水分、電解質管理が必要であり、本剤の投与により電解質等に影響を与え、症状が悪化するおそれがある。〕

(4) 腎不全のある患者〔水分の過剰投与に陥りやすく、症状が悪化するおそれがある。〕

2．重要な基本的注意

ブドウ糖の投与速度が速い場合に急激に中止することにより、低血糖を起こすおそれがある。

3．副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。
副作用が認められた場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

大量・急速投与：大量を急速投与すると、電解質喪失を起こすことがあるので、慎重に投与すること。

4．高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので、投与速度を緩徐にし、減量するなど注意すること。

5．適用上の注意

(1) **投与経路**：皮下大量投与により、血漿中から電解質が移動して循環不全を招くおそれがあるので、皮下投与しないこと。

(2) **調 製 時**：
1）他の医薬品を混注して使用する場合には、医薬品相互の物理的・化学的変化に十分注意して行うこと。
2）注射剤の溶解・希釈剤として使用する場合は、ブドウ糖注射液が適切であることを確認すること。

(3) **投 与 前**：
1）投与に際しては、感染に対する配慮をすること。（患者の皮膚や器具消毒）
2）寒冷期には体温程度に温めて使用すること。
3）開封後直ちに使用し、残液は決して使用しないこと。

(4) **投 与 時**：
1）ゆっくり静脈内に投与すること。
2）高張液の投与は、血栓性静脈炎を起こすことがあるので、慎重に投与すること。
3）血管痛があらわれた場合には、注射部位を変更すること。また、場合によっては投与を中止すること。

(5) **投 与 後**：高濃度液投与の急激な中止により、低血糖を起こすおそれがある。

267.0

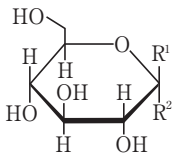
品　名	糖注 MP5%	制作日		MC	色調	スミ	アカB				トラップ
本コード		2013.3.7		C							（　）
		校	作業者印	AC							角度
仮コード	1979M0212303	3校	中村		朝日印刷株式会社		kf8m1	APP.TB			

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：〔日局〕ブドウ糖　Glucose

化学名：D-Glucopyranose

化学構造式：



α-D-グルコピラノース：R^1＝H, R^2＝OH

β-D-グルコピラノース：R^1＝OH, R^2＝H

分子式：$C_6H_{12}O_6$

分子量：180.16

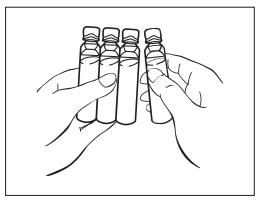
性　状：白色の結晶または結晶性の粉末で、においはなく、味は甘い。水に溶けやすく、エタノール（95）に溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

【取扱い上の注意】

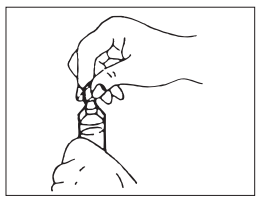
1．**20mLの場合の注意**：

アンプルカットの手順

⑴ アンプルの結合部分を前後に切り離して下さい。



⑵ 頭部を回転させて切り離して下さい。



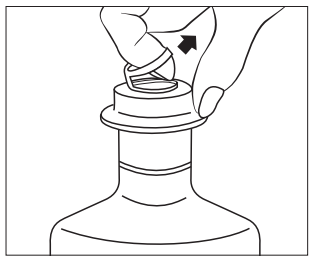
2．**250mL、500mLの場合の注意**：

⑴ 連結管による混合投与の場合は、Y字管連結にして使用すること。

⑵ 開栓時の注意：

1）プルオフリングの支柱部が向こう側になるようにボトルを保持する。

2）プルオフリングの上から人差し指を入れ、リングに指をかける。



3）親指で支え、手前方向へ約45度にゆっくり引くと開栓できる。

⑶ 注射針はゴム栓の○印にまっすぐ刺すこと。

⑷ 容器の目盛はおよその目安として使用すること。

3．包装内に水滴が認められるものや内容液が着色または混濁しているものは使用しないこと。

【包　　装】

糖注MP 5％　20mL：100管（プラスチック容器）

250mL：　20瓶（プラスチックボトル）

500mL：　20瓶（プラスチックボトル）

糖注MP20％　20mL：100管（プラスチック容器）

＊20mLプラスチック容器はポリエチレン製容器、250mL，500mLはポリプロピレン製容器である。

※※※【文献請求先】

ファイザー株式会社　製品情報センター

〒151-8589　東京都渋谷区代々木3-22-7

学術情報ダイヤル　0120-664-467

FAX　03-3379-3053

※製造販売元（輸入元）

マイラン製薬株式会社

大阪市中央区本町2丁目6番8号

※※販売

ファイザー株式会社

東京都渋谷区代々木3-22-7

2013.1 ⑧
001

267.0

品　名	糖注 MP5%	制作日		MC	色調	スミ					トラップ
本コード		2013.3.7		C							（　）
		校	作業者印	AC							角度
仮コード	1979M0212303	3校	中村		朝日印刷株式会社	kf8m1	APP.TB				